

2019年1月12日(土)、中国北京師範大学にて「日中幼児教育学専攻大学院生フォーラム北京師範大学—広島大学」を開催しました。広島大学大学院教育学研究科附属幼儿教育研究施設からは、七木田敦教授と博士課程後期学生5名が参加・研究発表を行いました。

北京師範大学の洪秀敏教授による中国の人口政策に関する講演、七木田敦教授による日本の幼小連携に関する講演の他、日中の学生による10件の研究発表がありました。司会の北京師範大学李敏誼准教授より、本フォーラムによる日中の幼児教育の分野における交流と連携が期待されました。発表についての議論では、日中の相違点や共通点について言及され、今後は共同研究など、さらなる研究交流の話題に発展しました。

(博士課程後期・淀澤真帆)



写真1 フォーラム集合写真



写真2 フォーラム会場

また、前日(1月11日)には、頤慧佳園幼児園を見学させて頂きました。孫湘紅園長に園内を案内して頂き、スタッフの方との意見交流を行いました。



写真3 幼兒園見学